

平成27年度一般会計補正予算などを可決

6月定例市議会が6月11日に招集され、24日までの14日間の会期で開かれました。上程された議案は、平成27年度一般会計補正予算および特別会計補正予算、にかほ市名誉市民、顕彰の授与など5件と、議員提案2件です。すべて原案のとおり可決・承認されました。

上程された主な議案

◆にかほ市名誉市民の授与

公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会の理事長として、にかほ市内はもとより、秋田県内の青少年等の科学教育振興に対する貢献や、長年にわたり地方自治に多大な功績を残した巴徳雄氏（院内）に対し、にかほ市名誉市民の授与を行うことが可決されました。

◆にかほ市顕彰の授与

木版画家として活躍され、2,000点を超す作品をにかほ市に寄贈し、本市のPRおよびイメージの向上や、多くの鑑賞者が訪れるなど交流人口の拡大に貢献された故池田修三氏（東京都）に対し、にかほ市顕彰の授

与を行うことが可決されました。

◆平成27年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出とも2,997万7千円を追加し、予算総額は15億2,117万7千円となりました。

【主な歳出】

- ・市制10周年記念式典関係費 96万6千円
- ・公認キャラクター着ぐるみ制作委託料 100万円
- ・集会施設整備費補助金 1,719万円
- ・経営体育成支援事業補助金 および多面的機能支払交付金 771万1千円
- ・工業振興条例補助金 327万8千円
- ・白瀬・南極フェア実行委員会補助金 200万円

・仁賀保グリーンフィールド照明塔改修工事 800万円

主な市政報告

◆27年度の課税状況について

5月末現在、軽自動車税の調定額は前年同期とほぼ同額の6千97万円で、固定資産税は3年に一度の評価替えのため、調定額で前年同期比4・5%、約6,140万円減の12億7,800万円となっています。

個人市民税は、5月中旬に給与からの特別徴収分の税額を通知していますが、調定額は前年同期比2・5%、1,800万円増の約7億2,200万円となっています。

この増額は、市内主要企業等の業績が好調なこともあり、給与と所得者の所得額が、前年度と比較して増加したものと捉えています。

個人市民税は、普通徴収分および年金からの特別徴収分が確定するのは6月中旬となりますが、退職分を除いた個人市民税の調定額は、給与所得が伸びたものの、農業所得が大幅に減少したため、前年度並の9億3、

など、各種事業に着手してまいります。

◆にかほ市市制施行10周年記念式典

本年10月1日に開催する式典では、各分野で市の発展にご尽力された功労者に対し表彰を行うほか、功績が顕著である方に名誉市民と顕彰を授与したいと考えています。

5月29日に、10人の委員で構成する顕彰選考委員会を開催し、名誉市民1人、顕彰1人を諮問した結果、出席委員（9人）全員の賛同で選考する答申を得ました。



000万円前後と見込んでいます。

◆株式会社栄田の新工場建設について

同社は、新規事業の立ち上げに向けて準備を進めています。食品製造業（畜産系エキス製造）の新工場建設のため、6月より造成工事に着手しています。

場所は、象潟町小滝地内で、敷地面積は約2万8,000平方メートル（内、造成面積は約9,800平方メートル）、工場等の建築面積は、約950平方メートルとなっており、12月の完成を目指しています。

新規雇用者は10人程度を計画しており、市でも工業振興条例の奨励措置等による支援を考えています。

◆TDK株式会社稲倉工場の新工場建設について

北部工業団地にある稲倉工場の新工場建設が始まり、6月9日に、安全祈願祭が行われています。

新工場の建設地は、にかほ市象潟町立石4の3、建物は一部2階建て、延床面積は約1万5,000平方メートルで、主

主な教育行政報告

◆地域とともにある学校づくりについて

5月1日に、開校式を行った院内小学校では、学校運営協議会制度を導入する学校として、教育委員会が4月にコミュニティ・スクールに指定し、すでに2回の協議がもたれております。今後は、協議会からの意見に配慮、地域とともにある学校の実現に向け支援をしていきます。

象潟小学校においては、市の防災教育推進モデル校の指定を受け、近隣の自治会の防災会会長や関係団体の代表からなる防災教育推進委員会を立ち上げました。

今後、計画的に児童の防災対応力や学校の防災体制の充実を図り、学校と地域が一体となった防災活動を推進します。

象潟小学校の取り組みをモデルとして、自分の命は自分で守る「災害に強い人づくり」にも力を入れていきます。

な事業は、フェライト材料およびフェライトコアの開発、設計ならびに製造となっています。来年夏の竣工を予定しており、量産開始は来年末を計画しています。

◆にかほ市プレミアム付き共通商品券事業について

国による地域活性化地域住民生活等緊急支援のための交付金事業の一つとして、地元の消費喚起、地域内での購買による消費拡大、地域経済の活性化を目的とした、プレミアム付き共通商品券の発行事業をにかほ市商工会が事業主体として行います。

1,000円分の商品券12枚が1セットになった、1万2,000円分の商品券を1万円で購入します。

発行総数は1万セットで総額1億2,000万円の内、プレミアム相当分の2,000万円が交付金対象となります。

発売日は7月22日で、にかほ市商工会の金浦本所、象潟・仁賀保の各支所が販売窓口となります。

商品券は、にかほ市内の取扱加盟店で今年いっぱい利用でき

ます。

◆にかほ市プレミアム宿泊券事業について

国の地域活性化地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用したプレミアム宿泊券事業は、にかほ市観光協会に委託し、額面5,000円の宿泊券を2,500円で販売します。

宿泊券は、6月19日から同事務所、象潟駅および道の駅・象潟「ねむの丘」で販売を開始しています。

この宿泊券は、6月20日から来年2月29日までの期間にこの事業に参加する17の市内宿泊施設で宿泊代のほか、宿泊に伴う飲食代、土産代等に利用することができま。販売枚数は3,200枚を予定しており、売り切れ次第、終了となります。

◆鳥海山・飛鳥ジオパーク

本年4月から象潟庁舎で、協議会事務局が業務を開始しております。

事務局職員は構成市町（3市1町）から1人ずつと、専任研究員1人の5人体制で、基本計画の策定、調査研究活動、受け入れ態勢の整備、広告宣伝活動